

大森山動物園の「挑戦」

大森山動物園では、「動物と語らう森」のテーマ実現のため、主役である動物たちの魅力を十分に感じてもらえるよう、「見せる」「触れる」「体験する」の充実を目指し、展示や様々なサービスの工夫を展開しています。

時には斬新な発想をしながら、現状に止まることなく常に進化するため挑戦し続けています。今回は、お客さまの笑顔のため、動物たちのすばらしさをもっと知ってもらうために日々試行錯誤しながら挑戦し続けるスタッフの熱い思いや苦労を綴ってもらいました。



動物パレード

飼育展示担当 渡辺 一

大森山動物園の大人気イベントの1つである「動物パレード」は、平成17年に始まりこれまで8年間開催しています。

主役の動物たちが普段入っている柵の中から飛び出し、手が届くほどの近くを練り歩きます。よちよち歩くペンギンや飼育員からはぐれないよう必死に後をつけて歩くヤギ、台車に乗って飼育員に引っ張られるウサギなど様々な動物たちが園路に登場します。

当初は年に1回、ペンギンやウサギ、ヤギ、ポニーなど8種類程度の動物が約250mのコースを歩く小さなイベントでしたが、動物を間近で見られることや一生懸命に歩こうとする動物



たちの様子がお客さまに大変好評となりました。もっとお客さまに喜んでほしい、動物たちの魅力を伝えようと職員みんなでアイデアを出し合い検討を重ねた結果、昨年からは春に1回、秋に2回と回数も増やし、パレードコースも約500mまで延長しました。新たにイヌワシやラマなども仲間入りし13種類もの動物が参加するようになりました。

また、体験サービスの充実も図り、パレード終点での動物ふれあいタイムや記念撮影会、ミニクイズ大会などの企画も大人気となっています。

更に新たな試みとして、お客さまもパレードに参加し一緒に進行できるようになりました。

約1時間と短い時間のイベントですが、いつもは柵越しやガラス越しでしか見られない動物を身近に見て、感じてもらえるすばらしい企画だと思います。

今後も、更に楽しくなるよう、もっともっとアイデアを出し合い、お客さまが楽しく、飼育員も一緒に楽しめる動物パレードになるよう挑戦し続けたいと思います。



移動動物園への取り組み

飼育展示担当 武藤 朱

当園では過去に“教育”を目的とした出前動物園を実施しています。主に秋田市内の小学校や児童会館等の子どもたちが多く集まる場所を会場に、ウサギやモルモット等の小動物やポニーを展示し、子どもたちと動物の“ふれあい”を通じた情操教育に貢献してきました。

これまでの取り組みに加え、今回新たに“中心市街地のにぎわい創出”を目的として移動動物園を実施しました。場所は秋田駅近くに昨年オープンした「エアなかいち」のにぎわい広場で、近隣には千秋公園やお堀があり自然豊かな立地です。反面、ビル群や交通量の多い大通りに面していて、これまでになく環境での開催とともに、レクリエーションとしても多彩なイベントが



求められ、動物園として“初めての挑戦”でした。実施に向けて、お客さまの安全確保と動物たちの安全、健康管理に細心の注意を払う必要があることから、念入りの事前準備を計画しました。

国内の移動動物園の現状を調査し、展示に適する動物の選定や輸送方



法、展示手法等の情報を集めたり、必要な資材等の経費算出や職員の業務分担の調整、関係機関との連携なども行いました。

膨大な準備作業では様々な課題にもぶつかり、急ぎの変更や修正も度々ありました。また、役割分担した業務間の連携も難しく、予想外に時間と経費がかかってしまう結果となりました。

第1回目の開催はクリスマス直前の12月22日。当日は敷地内で他のイベントも開催されており、多くの方が訪れていました。移動動物園会場にも、動物たちとの対面を心待ちにしている来場者がテントに集まり、新たな挑戦への期待が伺えました。

今回は7回開催し、約5,600人の方に来場いただきました。限られた環境の中で、来場者の方々が笑顔になっている様子を見て、初めての挑戦は“成功”したと感じました。

今回の実績を生かし、もっとお客さまに満足いただける、また、関わる職員も“大成功”と感じるような動物園となるよう更に挑戦し続けたいと思います。



ゾウのエサやり体験

飼育展示担当 山上 昇



昨年4月から、お客さまへの新たなサービスとしてアフリカゾウへのエサやり体験を始めました。大型動物であるゾウをより近くで見学しながら、その迫力や鼻の器用さなど、ゾウの魅力を身近に感じてもらうために実施するものです。

ゾウ寝室内に臨時の柵を設置した特設会場にお客さまが入り、小さく切ったリングを60cm程度の細長い竹先に取り付け、目の前に立っている大迫力のゾウにエサを与えます。

大きな顔が目の前に迫り、竹先まで伸びてくるゾウの鼻で、息づかいや鼻水、エサを採るとき器用な動きなどを間近で見ることが出来ます。

開始当初は、数量限定のこともあり混雑を回避するため園内放送せず、チラシ掲示等によるお知らせで実施しました。しかし、体験されるお客さまが少なく、準備していたエサも大量に残る始末でした。また、見学しているお客さまに参加を呼びかけても、有料と分

かるとその場を立ち去ってしまう光景が何度かありました。

このイベントを定着させるため、悪天候での実施や園内放送など新たなお知らせも行いましたが、なかなか思い通りにいかずただ時間だけが過ぎていきました。担当内でも改善策を何度も話し合い、辛抱強く続けていきました。

そのような努力のこいもあってか、子どもたちが夏休みに入ったあたりから徐々に定着し、サービス開始前からお客さまが行列している状態も見られ、参加者も少しずつ増えてきました。

これから動物園にご来園くださる皆さまが、ゾウをもっと身近に感じ、その迫力や魅力を発見し感動いただけるよう、この体験を更に充実させ満足いただけるようにしていきたいと思っています。